

ナバナ
(アブラナ科)

根が浅くて肥やけを起こしやすい野菜。
深植えすると生育が悪くなる。

作型	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
露地直播栽培	播種	■							○				
	収穫				■								■

1) 適地

土壌は特に選びませんが、排水のよい砂壤土または壤土が適します。過去に根こぶ病が発生した圃場は避けるようにします。

2) 品種

品種名の前に「CR」がついた、根こぶ病抵抗性のある品種を選ぶようにします。京の春、花飾り、花かんざし、花ぐるまなどがあります。各品種の適期に播種するようにしましょう。

3) 作り方

【圃場の準備】播種の1か月前に、1m²当たり堆肥2kgと苦土石灰100g、BMようりん40gを施用し、耕耘します。播種の1週間前に、1m²当たりホウ素入りの高度化成肥料120gを施用し、幅135cmの畝を立てます。

【播種】条間60cm、株間30cmの2条となるように手または播種機で播種します。播種後は灌水し、乾燥防止のためにモミガラや不織布をかけておきます。不織布の場合、発芽したら取り除きます。

【管理・追肥】本葉が5枚程度になる前に、生育不良の株を間引いて1本立ちにします。1本立ちにしたのち、1m²当たり高度化成肥料30gを条間に施用し、中耕・土寄せします。2回目の追肥は収穫開始時に、3回目の追肥は収穫開始1か月後に条間または畝間に1回目と同量施用します。その後は、草勢を見ながら適宜施用します。

【収穫】主茎が伸び、花蕾が大きく膨らんで開花直前となったものを収穫します。蕾が黄色味を帯びたり、開花したものは品質が悪いため出荷しないようにしましょう。摘み遅れし、開花してしまった場合でも、株の衰弱を防ぐために摘み取って除去します。

4) 病虫害防除

害虫ではアブラムシ類、ハイマダラノメイガ、ネキリムシ類、ヨトウムシ類、コナガが発生します。病害では、黒腐病、白さび病、軟腐病などが発生します。いずれも、収量に大きな影響を及ぼしたり、品質低下の原因になるため、早めに防除しましょう。



収穫期の圃場



出荷時の荷姿例